

人権学習展開例

主 題 名 新渡日の外国人について

教 材 名 「心の国際化をめざして ー外国人とともにー」

人権学習の視点 個別的な視点 「外国人の人権問題」

主題・教材について

近年、日本の外国人住民の数は急増し、200万人を超えている。その現状について、歴史的経緯や社会的背景などについて知り認識を深めさせたい。また、外国人住民には、言葉や生活習慣の違いから、日常生活を送る上で様々な問題があること、また相互理解が不十分であることによる偏見や差別などの問題があることについて知り、これらの問題の解決に向けて、相互に理解を深め、人権を尊重して共生していく社会を築こうとする態度を養いたい。

ね ら い

- 日本の外国人住民の現状について認識を深めさせる。
- 相互に理解を深め、人権を尊重して共生していく社会を築こうとする態度を養う。

本時の展開 ※2時間扱い

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	国際理解度をチェックしてみよう。				
	○「国際理解度チェック」をしながら、日本社会の国際化の現状について考えさせる。	一斉	○全員立っている状態から始め、挙手などで回答させて間違ったら着席させる。	○3択クイズは質問用紙を配布して行うことも可能 ○導入であり、それぞれの質問に関する説明は概要にとどめる。	生徒用教材「あなたの「国際理解度」チェックシート」
展開	外国人住民の在留状況や渡日の背景と経過、日常生活を送る上での様々な問題について知ろう。				
	○都道府県別の外国人の在留状況や渡日の歴史的背景等について考えさせる。	一斉 個別	○生徒用教材を読ませながら生徒を指名し、ワークシート1を埋めていく。	○「外国人」と言っても、それぞれの府県等によって実態は大きく異なることを確認させる。 ○1980年代後半に外国人住民が急増した社会背景をおさえる。 ○中国・ブラジルから渡日した人たちが多い現状について、中国残留邦人、ブラジル移民の歴史に触れながら理解させる。	生徒用教材ワークシート1
	○新渡日の外国人が、日常生活を送る上での様々な問題について考えさせる。	一斉 個別	○生徒用教材の中から、問題点をワークシート1に整理させる。	○生徒に発表させてもよい。	
展開	新渡日の外国人の子どもたちの現状と課題を知ろう。				
	○新渡日の外国人の子どもたちの状況についてその課題や思いについて考えさせる。	個別	○作文「『在日中国人』としての自己確立までの旅」を読ませる。	○新聞記事・子ども作文等を通して、新渡日の外国人の子どもたちのおかれている状況と、その思いを深く理解させる。	
展開		一斉	○知識として知るだけにとどまらず、新渡日の外国人の子どもたちの現状に対する自分なりの意見をワークシート2にまとめさせる。		
	○学習を振り返らせる。	一斉	○2時間の学習を振り返って学んだこと、最も印象に残ったことなどを発表させる。	○「心の国際化」に向けて、自らの問題として考えさせたい。	
まとめ					

評 価

- 日本の外国人住民の現状について認識を深めさせることができたか。
- 相互に理解を深め、人権を尊重して共生していく社会を築こうとする態度を養うことができたか。